

平成27年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」第6回「昔の暮らしから学ぶ②」
(テーマ：生活)

- 実施日時 平成27年8月25日(火) 10時00分～16時15分
- 受講者数 14名
- 実施場所 エスケー石鹼株式会社川口工場
- 実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局(研究所)から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義・講話

(ゲストティーチャー：エスケー石鹼株式会社 常務取締役営業部長 立花 静香
執行役員営業部長 小林 衛)

私たちの生活になくてはならない「水」。生活の中で、その水を汚す主な原因である石鹼や洗剤について、石鹼の製造工程を工場見学と講義から、昔の石鹼と今の合成洗剤の違いについて学ぶ。



【午後】

3. 環境学習プログラム「昔の暮らしから学ぶ！」

(講師：特定非営利活動法人 環境学習研究会理事長 谷村春樹)

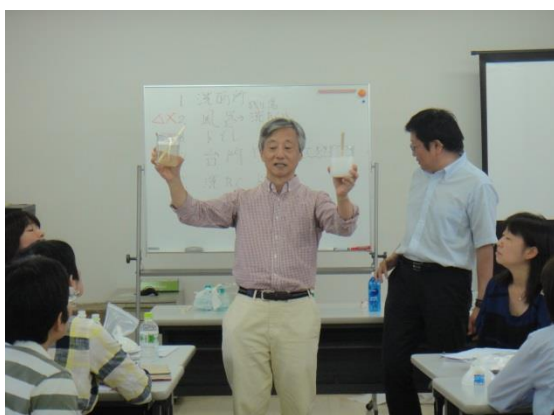
(1) 人の生活を支える水、その循環について自然界とのつながりを学び、循環を維持していくための昔の暮らしの知恵を知る。生活の中で、環境を守るための工夫を考えることにより、子供たちの感性を磨き、安全でより環境に優しい生活を考える力を育てるプログラム。

- ① 水の汚れ減らし隊 (廃油石けん作り)、(パックテスト編)
- ② 水の循環



(2) 廃油石けん作り模擬授業体験

午前中に学んだ「石けん」と「合成洗剤」の違いを思い出しながら、その環境への影響の違いを学んだ後、実際に廃油石けん作りを体験。授業への生かし方、作業上の注意などを学んだ。





(4) 「環境学習の意義について」 (各回共通説明事項)

子供の健全な成長には、バランスよく理性と感性の両方を伸ばしていく必要がある。特に現代では、日常生活において実感を伴う様々な「体験」が不足していること、それゆえに学校において「体験」を伴う学習の必要性が増してきている。環境学習は、学校における各教科学習を基礎に、それら教科学習と関連させて実施することが大切である等の説明があった。

(5) まとめ (質疑応答及び発表、受講者同士の情報交換)

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での活用方法や各学校で実施した関連事例等を、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者間で情報を共有した。

主な発表

- ・合成洗剤と石けんの違いをはじめって知った。
- ・生活排水の学習に役立つヒントが得られた。



5. 事務連絡、アンケート記入等 (事務局)

アンケート提出後解散